

新型コロナウイルス 感染症の予防

～子どもたちが正しく理解し、実践できることを目指して～

本資料の活用について

新型コロナウイルス感染症が全国的に感染拡大する中、子どもたちが健康で安全な生活を送れるよう、各学校において指導の充実を図ることが求められています。

そこで本資料では、子どもたちが新型コロナウイルス感染症の予防について正しく理解し、適切な行動をとれるよう、日常の指導における「ねらい」や「指導内容」を具体的に示しました。

各学校においては、これらの指導例を有効に活用し、小・中・高等学校それぞれの子どもたちの発達段階を踏まえた指導を工夫されますようお願いします。

なお、新型コロナウイルス感染症については、未だ感染源や感染経路などがはつきりしていないこともあるため、その時点の最新の知見に基づき指導するように配慮してください。

指導例① 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策

指導例② 感染症の予防1（手洗い）

指導例③ 感染症の予防2（咳エチケット）

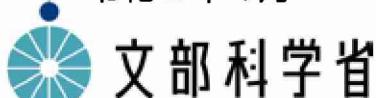
指導例④ 感染症の予防3（3つの密）

指導例⑤ 正しい情報の収集

指導例⑥ 新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見

指導例⑦ 新しい生活様式

令和2年4月



<テーマ>

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策

【ねらい】

自分の生活や行動を振り返り、感染防止のために、一人一人が気を付けなくてはいけないことを理解し、実践できるようにする。

【指導内容】

- ウイルスは、自分自身で増えることはできないが、粘膜などの細胞に付着して入り込んで増えること。
- 新型コロナウイルス感染症は、現時点（令和2年4月）では、飛沫感染または、接触感染によつて感染するとされていること。
- 感染症を予防するには、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けることが有効であること。
- ウイルスから身を守るために、換気など周囲の環境を衛生的に保ち、正しい手洗いの方法を身に付けること。
- ウイルスに感染していても症状が出ない場合があり、その人たちが、知らないうちに感染を拡めてしまうことがあること。
- 妊婦や高齢者、基礎疾患がある場合は、重症化するリスクが高いことが報告されていることから一層注意が必要であること。
- ウイルスから、自分自身を守るため、そして、大切な人を守るため、「不要不急の外出を避ける」「3密を避ける」等の感染症の予防策の徹底が必要であること。
- 行動が制限されている中でも、家族や友人と、「3密」を避けて工夫した交流をすることで心身の健康を保つようすること。
- 私たち一人一人が、感染症を予防するためにできることをしつかりやっていくことが大切であり、自分の生活や体調を振り返り適切に行動することが感染拡大防止にもつながること。

《参考資料》若者の皆様へ

【知らないうちに、拡めちゃうから。】

疫病から人々を守るとされる妖怪「アマビエ」をモチーフに、若い方を対象とした啓発アイコンを作成しました。自分のため、みんなのため、そして大切な人のため。私たち一人ひとりが、できることをしつかりやっていく。それが私たちの未来を作ります。国民の皆さま、引き続き、不要不急の外出や3密を避ける行動へのご協力をお願いします。

新型コロナウイルス感染症は、罹患しても約8割は軽症で経過し、治癒する例が多いことが報告されている一方、高齢者や基礎疾患をお持ちの方は、重症化するリスクが高いことが報告されています。皆さんご自身を守るため、そして、大切な人を守るため、感染症の予防策の徹底を引き続きお願いします。



厚生労働省HPより

<テーマ>

感染症の予防1（手洗い）

【ねらい】

正しい手洗いの方法を知り、実践できるようにする。

〔指導内容〕

- 手洗いは接触感染を予防するのに効果があること。
(手にウイルスがついた状態で口や鼻を触ることで粘膜から感染するから)
- 手洗いは正しい方法で行わないと予防にならないこと。
(さっと洗っただけでは、爪の裏や手のしわ、指紋の間にいたウイルスが水分で浮き出て、手のひらにウイルスが広がってしまうから)
- 手のひらだけでなく、手の甲、指先、爪の間、指の間、親指の付け根、手首も洗うようにすること。(爪の間、指の間や親指の付け根などには細菌が残りやすいから)
- 洗い終わったら、清潔なハンカチやタオル、ペーパータオルなどでよくふき取って乾かすこと。また、ハンカチ等は共用しないこと。
- 爪を短く切り、清潔にしておくことも必要であること。

《参考資料》

接触感染に注意！

新型コロナウイルスの感染経路として
飛沫感染のほか、接触感染に注意が必要です。

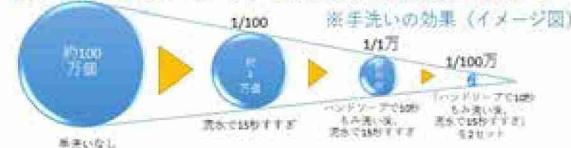
人は、“無意識に”顔を触っています!



そのうち、目、鼻、口などの粘膜は、
約44パーセントを占めています！

手洗いのすすめ

水とハンドソープで、ウイルスは減らせます！



(参考文献) 森功次他：感染症学雑誌.80:496-500(2006)

手洗いの、5つのタイミング



厚生労働省ホームページから

<テーマ>

感染症の予防2（咳工チケット）

【ねらい】

「3つの咳工チケット」と「正しいマスクの付け方」を知り、実践できるようにする。

〔指導内容〕

- 飛沫感染とは、感染者の咳やくしゃみ、つばとともに放出されたウイルスを他者が口や鼻から吸い込んで感染することを言う。（飛沫は1～2m飛ぶと言われています。）
- 飛沫感染を防ぐためにも、何もせずに咳やくしゃみをしたり、咳やくしゃみを手でおさえたりせずに、3つの咳工チケットを実践すること。

<3つの咳工チケット>

- ①マスクを着用する。（口・鼻を覆う。）
- ②マスクがないときは、ティッシュやハンカチで口・鼻を覆う。
- ③マスクがなく、とっさの時は袖で口・鼻を覆う。

<正しいマスクのつけ方>

- ①鼻と口の両方を確実に覆う。
- ②ゴムひもを耳にかける。
- ③隙間がないよう鼻まで覆う。

《参考資料》

②咳工チケット



何もせずに
せき
咳やくしゃみをする

3つの咳工チケット



電車や職場、学校など
人が集まるところでやろう

マスクを着用する
(口・鼻を覆う)

ティッシュ・ハンカチで
口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う

「3つの咳工チケット」首相官邸・厚生労働省

<テーマ>

感染症の予防3（3つの密）

【ねらい】

新型コロナウイルス感染症を予防するための3つの密を理解し、適切に行動できるようにする。

〔指導内容〕

- 1 換気の悪い密閉空間（空気の入れ替えのできない場所、窓のない場所）
- 2 多数が集まる密集場所（たくさんの人人が集まる場所）
- 3 間近で会話や発声をする密接場面（人と人との間が近い場面）
 - この3つの条件がそろう場所では、クラスター（集団）発生のリスクが高いこと。
 - 日頃の生活の中で3つの「密」が重ならないように工夫することが必要であること。
 - 3つの密が重ならない場合でも、リスクを低減するため、できる限り「密閉」「密集」「密接」しないようにすること。

《参考資料》

新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力をおねがいします

「密閉」「密集」「密接」しない!

- 「ゼロ密」を目指しましょう。屋外でも、密集・密接には、要注意!

- 他の人と十分な距離を取る!
- 窓やドアを開けこまめに換気を!
- 屋外でも密集するような運動は避けましょう!
- 飲食店でも距離を取りましょう!
 - ・多人数での会食は避ける
 - ・胸と一つ飛ばしに座る
 - ・互い違いに座る
- 会話をするときはマスクをつけましょう!
- 電車やエレベーターでは会話を慎みましょう!

『「密閉」「密集」「密接」しない!』

首相官邸・厚生労働省

新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力をおねがいします

3つの密を避けるための手引き!

- 新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、咳エチケット、手指衛生等に加え、「3つの密(密閉・密集・密接)」を避けてください。
- 3つの密が重ならない場合でも、リスクを低減するため、できる限り「ゼロ密」を目指しましょう。
- 屋外でも、密集・密接には、要注意。人混みに近づいたり、大きな声で話しかけることなどは避けましょう。

首相官邸 厚生労働省 厚労省 コロナ 検索 ■厚生労働省フリーダイヤル 0120-565653

3つの密を避けるための手引き

<テーマ>

正しい情報の収集

【ねらい】

新型コロナウイルス感染症に関する情報を得るためにどうしたらよいか考え、実践できるようとする。

【指導内容】

- 公的機関などがホームページ等で提供する正確な情報を入手し冷静な行動をとること。
 - ・首相官邸、厚生労働省、文部科学省、国立感染症研究所など
- SNS で氾濫しているデマや誤った情報に惑わされないよう注意すること。
- 情報が多くなると必要以上に不安や心配な気持ちを引き起こす恐れがあるので、新型コロナウイルス感染症に関する情報やニュースをずっと読み続けるのは避けたほうがよいこと。
- 心配なことがあつたら、一人で抱え込まずに、周囲の人に相談すること。

《参考資料》

首相官邸ホームページ

<https://www.kantei.go.jp/>

- ・新型コロナウイルス感染症に備えて～一人ひとりができる対策を知っておこう～
- ・感染症対策特集～様々な感染症から身を守りましょう～ 等

厚生労働省ホームページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

- ・国内の発生状況
- ・新型コロナウイルス感染症に関するQ&A 等

文部科学省ホームページ

https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/index.html

- ・やってみよう！新型コロナウイルス感染症対策 みんなでできること

国立感染症研究所ホームページ

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov.html>

- ・新型コロナウイルス感染症(COVID-19) 関連情報ページ

<テーマ>

新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見

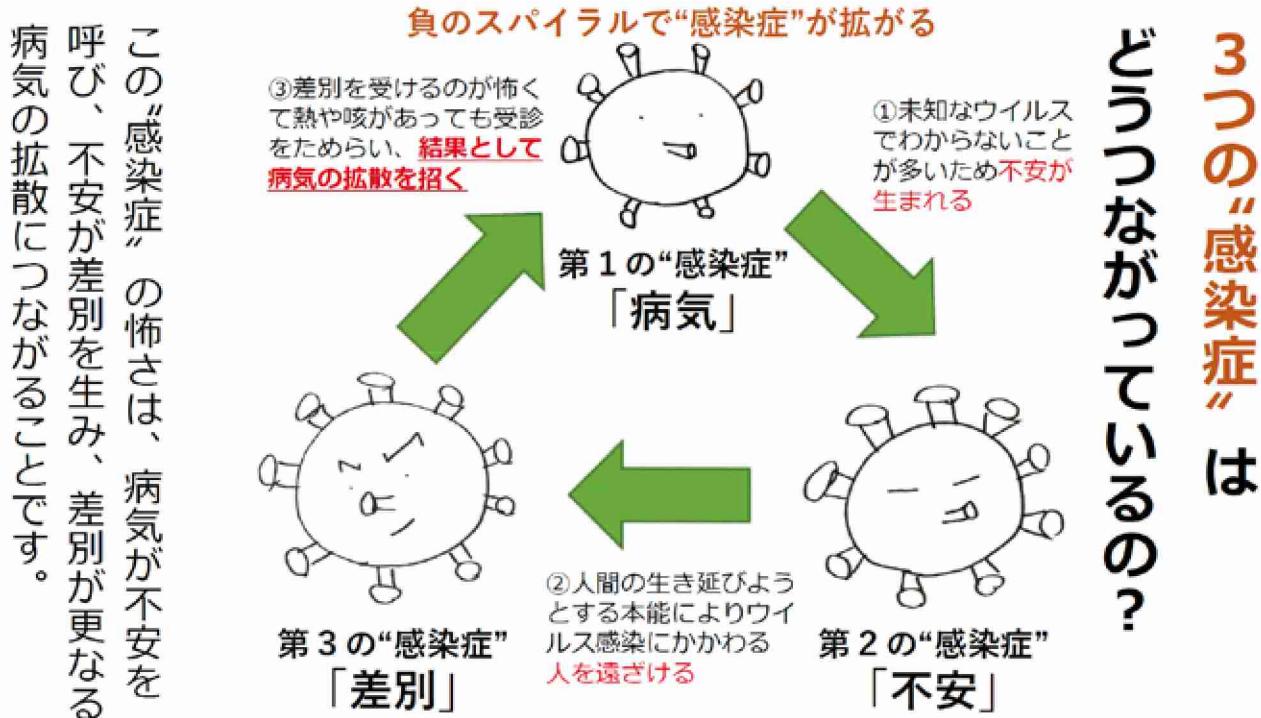
【ねらい】

新型コロナウイルス感染症に関する差別や偏見について考え、適切な行動をとることができるようとする。

〔指導内容〕

- 感染者、濃厚接触者、医療従事者、社会機能の維持にあたる方等とその家族に対する誤解や偏見に基づく差別は許されないこと。
- 見えないウイルスへの不安から、特定の対象（※1）を嫌悪の対象としてしまうことで、差別や偏見が起こること。
 ※1 ・感染症が広がっている地域に住んでいる人 ・咳をしている人
 ・マスクをしていない人 ・外国から来た人
- 差別や偏見のもととなる「不安」を解消するためにも、正しい情報（公的機関が提供する情報）を得ること、悪い情報ばかりに目を向けないこと、差別的な言動に同調しないことが大切であること。

《参考資料》



(ねらい)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予防する生活について考え、基本的な感染対策を学校生活だけでなく家庭でも継続して実践できるようにする。

(指導內容)

- 感染防止の3つの基本（身体的距離の確保、マスクの着用、手洗い）を継続すること。
 - 自分たちの身近な生活において、3密を避けるための工夫について考え、家庭でも話し合い、実践できるようにすること。その際、学んだことを子どもたちから家族に伝えるなど、自らの生活を工夫することについて主体的に取り組めるようにすること。
 - ・買い物や外出は必要最低限にし、人混みを避け、人との距離を取るようにすること。
 - ・公共交通機関を利用する場合、会話は控えめにし乗客が少ない時間帯に利用すること。
 - ・地域の感染状況に注意をし、感染が流行している地域への移動は控えること。
 - ・オンライン・電話による診療や服薬指導などの便利な仕組みを知り、活用できるようにすること。

《參考資料》

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基礎的感染対策

感染症の3つの基本：①体表面細菌の除菌、②マスクの着用、③手洗い

- 口入との制限：「まん延防止等重点措置」実施中：空ける。
口蓋が下にならぬ限り屋外を歩く。
- 口呼吸する際は、可能な限り直立位とする。
- 外出時、屋内にいるときはマスクをするとこまは、症状がなくともマスクを着用
- 車内に乗りたまらず手を消毒する。できるだけすぐに手洗いをする。シャンプーを浴びる。
- 手洗い・出社時手指洗浄をすることと石けん・アルコール（手指消毒薬の使用も可）

* 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人などには、体温管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

感染症が流行している地域からの移動、想定が流行している地域への移動は控える。
帰省や旅行はひかえめに、出張はやめ不得ない場合に。

口喰いしきのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
地図の感染拡大に注意する。

(2) 日常生活を整えるまでの基本的生活様式

口鼻点に手洗い・手指消毒 口咳・オウツの徹底 口これまでに換気
口年2回の定期健診 口「コロナ」の回復・症状・伝播・安心
口毎朝の体温測定 健康チェック。食欲は満足の状態がある場合ははみりせず自己で療養



(3) 日常生活の各種面倒の生活様式

面倒物

口通帳を利用
□1人または少人数でいた時間に
□電子決済の利用
□公共交通機関
□サンプルなどは販売への接触は控えに
□レジに並ぶときは、前後にスペース

靴脱・スニーカー着

□靴はすいたり履き、湯河を落とした
□靴の脱けたり履きは自宅で画面を活用
□ショッピングモールではマスク
□手洗い・消毒液・お風呂場をもたらす
□靴脱・靴履での会話は避免
□歌や歓声は、十分な距離をオンライン

公共交通機関の利用

□公共交通機関は控えめに
□混雑している経路や時間は避けて
□市営や自家軽自動車利用を併用する

直進

□口持ち帰りや出前、リテラリーも
□駅外空間で飲食よく
□公共交通に乗って、移動時間中に
□公共交通ではなく徒歩で往こう
□公共交通で集中、あしゃべりは控えめに
□お的、グラスを回す時の回し飲みは避け

居酒屋などの飲食店舗

□多人数での会食は避け
□営業時間延長がある場合は参加しない

(4) 楽き方の新しいスタイル

□テレワークやクロマティックーション、自炊・自作活動でゆっくりと、□ オフィスはからびると
□家庭はオンライン、□医療状況はオンライン、□ 対屋での打合せは換気とマスク

※ 楽き方との感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成

《出典・参考資料》



首相官邸・厚生労働省

<http://www.kantei.go.jp/jp/content/000059525.pdf>



首相官邸・厚生労働省

<https://www.kantei.go.jp/jp/content/000062975.pdf>



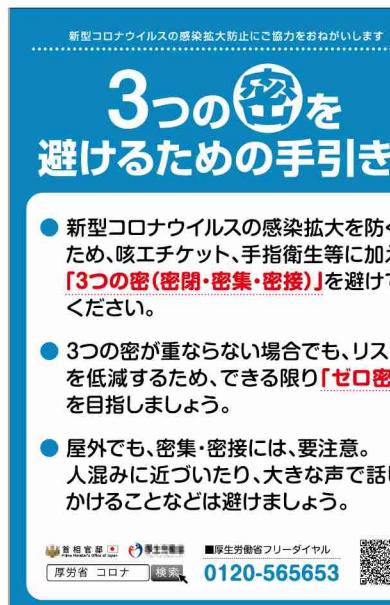
首相官邸・厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html#kokumin



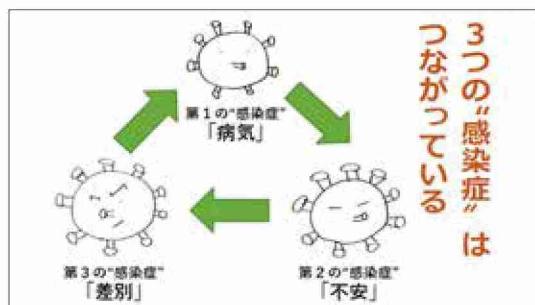
首相官邸・厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html#telemedicine



首相官邸・厚生労働省

<https://www.kantei.go.jp/jp/content/000062771.pdf>



日本赤十字社

http://www.jrc.or.jp/activity/saigai/news/200326_006124.html